

# 原木需給情報システム開発事業関連海外情報

No. 11, 8 August 2013



## 韓国の合板・木質ボード類産業の木材利用実態

### 1. 製品生産量と稼働日数

韓国山林庁が2013年初に発表した「2011年木材利用実態調査」報告書によると、合板・木質ボード類(12社)の製品生産量は月平均337,004m<sup>3</sup>で、そのうちMDFの生産量が157,265m<sup>3</sup>と最も多く、次にフローリングが78,403m<sup>3</sup>、パーティクルボード(PB)が67,376m<sup>3</sup>、合板が33,960m<sup>3</sup>の順である。

韓国では、廃材、木屑、チップなどを原材料にした木質ボード類、特にMDFは2000年以降から家具やアパートの内装用に向けた需要の増加に伴って国内生産量も着実に拡大している。フローリングの生産量も所得増加に伴う需要増により増加している。

表1 合板・木質ボード類の生産量(単位:m<sup>3</sup>/月平均)

区分	合計	合板	フローリング	MDF	PB
2010年	299,881	32,836	52,876	140,201	57,300
2011年	337,004	33,960	78,403	157,265	67,376

資料:山林庁「2011、2010年木材利用実態調査書」、以下同。

一方、合板・木質ボード類産業の工場稼働日数は月平均26.4日であり、25日以上が75%、25日以下が25%である。

表2 合板・木質ボード類産業の稼働日数(単位:%)

区分	会社数	25日以下	25日以上	平均(日)
2010年	12	25%	75%	26.3
2011年	12	25%	75%	26.4

## 2. 原材料の需給量

合板・木質ボード産業が製品を生産するために入荷された原木は合わせて2,126,025m<sup>3</sup>で前年比1.9%増加した。うち、国産材は1,496,110m<sup>3</sup>で全体の約70.4%を占めており、輸入原木は629,915m<sup>3</sup>で約29.6%を占めている。

表3 合板・木質ボード類産業の原木入荷量（単位：m<sup>3</sup>）

区分		会社数	総入荷量	直接購入	他社から購入	他社に販売
2010年		12	2,068,694	1,613,299	578,270	122,875
2011年		12	2,126,025	2,126,025	-	-
原木	国産材	10	1,496,110	1,496,110	-	-
	輸入材	5	629,915	629,915	-	-

合板・木質ボード類産業に入荷された国産材を購入先別にみると、伐採業者からの購入が95.2%と圧倒的に多く、次に森林所有者との契約が4.6%、国家との契約が0.2%、自治体からの購入が0.05%の順で、韓国における国産材の供給は伐採業者が占めているといえない状況である。その理由は、韓国には日本のような木材市場が存在していないためである。

表4 合板・木質ボード類産業の国産材の入荷先（単位：m<sup>3</sup>）

区分		会社数	国産材 入荷量	森林所有 者と契約	伐採業者 から購入	国家と 契約	自治体 と契約	他社から 購入
2010年		7	1,458,413	-	1,242,680	-	14,697	201,036
2011年		10	1,496,110	68,328	1,424,415	2,568	799	-
樹 種	針葉樹	7	1,062,042	-	1,059,901	1511	630	-
	広葉樹	9	434,068	68,328	364,514	1057	169	-

一方、輸入材の購入先をみると、海外から直接購入が80.0%と最も多く、次に輸入業者から購入が9.1%、問屋から購入が0.3%の順である。樹種別では、大半がニュージーランドからのラジアタパイン（617,977m<sup>3</sup>）である。これは、主に厚さ12mm以上コンクリート型枠用合板の製造に使われる。

表5 合板・木質ボード類産業の輸入材の入荷先（単位：m<sup>3</sup>）

区分		会社数	輸入材 入荷量	海外から 直接購入	輸入業者 から購入	問屋から 購入	他社から 購入
2010年		9	610,281	520,981	500	800	88,000
2011年		5	629,915	570,984	57,013	1,918	-
樹種	針葉樹	5	620,895	561,964	57,013	1,918	-
	広葉樹	1	9,020	9,020	-	-	-

また、合板、PB、MDFなどの製造にどのような原材料量を利用しているかをみると、合板は輸入原木の消費が最も多く、461,882m<sup>3</sup>にのぼる。PBは国産原木の一部分（24,137m<sup>3</sup>）と製材加工の廃材（152,219m<sup>3</sup>）、木くず（20,426m<sup>3</sup>）、廃木材（815,564m<sup>3</sup>）、林地残材（49,962m<sup>3</sup>）の順である。MDFは国産原木の消費が最も多く、1,468,877m<sup>3</sup>に達しており、次に製材廃材（820,390m<sup>3</sup>）、輸入原木（146,350m<sup>3</sup>）、廃木材（91,536m<sup>3</sup>）の順である。

表6 合板・木質ボード類製品の原材料消費量（単位：m<sup>3</sup>）

区分	製造 会社 数	原木		単板	製材 廃材	木屑	廃木材	林地 残材	
		国産材	輸入材						
2010年		12	1,379,844	628,441	129,649	847,515	7,000	988,560	107,172
2011年		12	1,574,244	608,232	154,603	972,609	31,546	907,100	49,962
製品 別	合板	4	-	461,882	123,518	-	-	-	-
	フロー リング	3	81,230	-	31,085	-	-	-	-
	PB	3	24,137	-	-	152,219	20,426	815,564	49,962
	MDF	6	1,468,877	146,350	-	820,390	11,120	91,536	-

### 3. 合板・木質ボード類製品の用途別生産量と販売量

合板・木質ボード類製品の生産量を用途別にみると、合板の生産では、仮設材として最も多く、合板生産量の 52.4%を占める 217,644m<sup>3</sup>にのぼる。次に建築内装材として同 36.2%を占める 150,524m<sup>3</sup>、フローリング材として同 10.1%を占める 42,164m<sup>3</sup>の順である。

表 7 合板の用途別生産量と販売量 (単位：m<sup>3</sup>)

区分		製造会社数	生産量	販売量
2010 年		6	398,629	393,913
2011 年		4	415,487	404,523
用途別	建築内装材	3	150,524	150,319
	仮設材	3	217,644	208,793
	フローリング材	1	42,164	40,265
	その他	1	5,156	5,156

MDF の生産量を用途別にみると、家具材としては MDF 生産量の 54.6%を占める 1,061,852m<sup>3</sup>と最も多く、毎年着実に増加している。次に建築内装材としては同 31.8%を占める 599,763m<sup>3</sup>、包装材としては同 3.4%を占める 63,600m<sup>3</sup>、フローリング材としては同 0.5%を占める 9,330m<sup>3</sup>の順となっている。

表 8 MDF の用途別生産量と販売量 (単位：m<sup>3</sup>)

区分		製造会社数	生産量	販売量
2010 年		6	1,649,414	1,604,796
2011 年		7	1,884,545	1,878,383
用途別	建築内装材	5	599,763	600,137
	家具材	6	1,061,852	1,055,316
	包装材	3	63,600	63,600
	フローリング材	1	9,330	9,330
	その他	1	150,000	150,000

一方、MDF が比較的販売価格の高い家具に利用されるを対照に、PB は安価な家具への使用に限られている。なお、2010 年、2011 年の PB 生産量は、それぞれ 687,600<sup>m</sup><sup>3</sup>、802,280<sup>m</sup><sup>3</sup>である。

表 9 PB の用途別生産量と販売量 (単位 : m<sup>3</sup>)

区分		製造会社数	生産量	販売量
2010 年		2	687,600	670,800
2011 年		3	802,280	811,905
用途別	家具材	3	802,280	811,905